

太陽の位置に合わせた建物への工夫で
省エネ快適な室内環境を実現



太陽光や風の流れ、雨水、地熱など自然エネルギーを、特別な機械設備を使わず建築的な技術や工夫を住まいに取り入れ、心地よい室内環境を目指す設計手法が「パッシブデザイン」。

それに対し、エアコンや照明・換気などの機械設備で室内環境を効率的にコントロールするのが「アクティブデザイン」です。

パッシブデザインは、建物の立地、配置、窓のサイズや方向、断熱気密などの建築技術を組み合わせます。そして木や漆喰などの自然素材の効果的に使用。

日本の伝統的な暮らしの知恵や技術を再考し、高温多湿の気候に対して「冬暖かく、夏涼しい住まい」を目指します！

ご挨拶

親子2代50年に渡り、地元密着型の大工仕事をして参りました。長年の経験から建物の構造を理解し、お客様にあった最適なプランをご提案いたします。

健康と家計に配慮した快適な住まいについてぜひ一度お問い合わせください。

中野克彦

中野建築工業株式会社 (匠のなかの)

所在地 〒311-1722 茨城県行方市次木 1080

電話番号 0291-35-3154

FAX番号 0291-32-8854

創業 昭和46年

代表 中野 克彦

許可番号 茨城県知事許可(般-05)第38118号

保有資格 二級建築士
木造組立作業主任者
福祉住環境コーディネーター

業務内容 ・新築住宅 設計・施工
・住宅リフォーム・増改築工事
・水周りリフォーム工事
・エクステリア、外構工事
・介護保険対応 バリアフリーリフォーム

加盟団体 一般社団法人 Forward to 1985 energy life
協同組合いばらき大工棟梁の会
もっくりんecoの会
LIXIL リフォームネット
GoodLiving 友の会

まずはお気軽にご相談ください。LINE相談も受け付けております。



HOMEPAGE



LINE



Instagram



YouTube

その土地にしかない
美しい自然
その土地にしかない
美しい建物の形



nakano-kenchiku35.com/

自然の恵みを最大限利用した住まい

私が大切にしていること、それは「その土地にあった建物を提案すること」です。風の流れ、太陽光の角度、周辺環境、住まう方のライフスタイルなどを考えた時、その土地に合う建物の形は、その土地にしかない建物の形だと考えるからです。

夏は強い日射を遮り、冬は温かい日射をできる限り取り入れる。「自然の恵みである太陽や風の力を引き出す設計力」とそれを実現する「大工匠の技」。

それは自然と省エネに繋がり、長く住めば住むほど、その建物から恩恵を受けられるということです。

立地条件に合わせた「断熱材」「ガラスサッシ」「塗料」などを変えることで断熱効率を向上させ、無垢材や珪藻土など自然素材を取り入れることで、湿度の調整を行うことが可能です。住まう方の健康にも配慮した「素材選び」が、建物の快適性へと繋がると考えます。人と同じく、建物の材料となる木材にも適材適所があります。地元産の無垢材を中心に、最適な木材選びを行っています。大工として長年培った経験を活かした匠ならではの視点。最新素材と日本古来の素材を「土地と暮らし」に合わせて選択することで、自然に適した唯一無二の建物をご提供することをお約束します。

●「パッシブデザイン思考」と大工技術によるオリジナル工法の家を提供



匠の技が叶える 本当に価値のある住まい

大工の代名詞とも言える「カンナ掛け」。「超仕上げ」とも言われます。

大手のハウスメーカーではほとんど見られなくなったカンナ掛けの光景。

—ではなぜ木材にカンナ掛けをするか、ご存知ですか？木材にカンナを掛けることで、表面は薄く削られます。カンナは非常に鋭い刃を使用しているため、表面の細胞が引き締まった状態になります。

引き締まった木の細胞は「水」を弾きます。木材の敵とも言える「水」を弾くということは、木を長持ちさせ、建物を長く美しく保つことができることにつながるのです。一見同じに見える木材でも、5年、10年、100年と年月を重ねれば、どのような処理をしてきたかで大きな違いが出てきます。材料である「木材」を熟知し、住まう人を想い、丁寧に加工した材料で建てられた住宅は、安心して長く暮らせる財産となるのです。お客様と作り手の心が通い合う家づくりを目指しています。

